

郡上農林事務所の普及活動状況

令和2年9月25日現在

今月の重点活動

■スマート農業 GPS搭載の乗用管理機で防除作業

ひるがの高原だいこんを対象とした「労働力不足の解消に向けたスマート農業実証」にて、GPSによる自動操舵とガイダンスシステムを搭載した乗用管理機での防除作業に取り組んでいる。

実証では、農業未経験の新規雇用者をオペレータにして実施したが、すぐに操作に慣れ、農業普及課の聞き取りに対しても「畝間のスムーズな運転や機械操作をすることができて、作業は簡単だった」と感想を述べていた。

実証経営体である(株)スタンシア清水代表も「機械操作に慣れていない者でも、十分作業は可能」と新規雇用者をGPS搭載機専属として防除作業に当たらせている。

農業普及課では、事業で導入したその他機械についても現地での調査を行い、スマート農業技術の有効性について実証を進めていく。



【GPS搭載乗用管理機】

多様な担い手づくり

■就農支援 「郡上トマトの学校」研修生選考会とオンライン募集

9月17日、令和3年度の「郡上トマトの学校」研修生選考会が開催され、農業普及課も選考委員として出席、研修希望者の面接を行った。

「郡上トマトの学校」は、JAめぐみの出資法人が運営する夏秋トマトの研修拠点で、中濃地域就農支援協議会（事務局 JAめぐみの）が窓口となり、研修生を募集している。

今回、定員2名のところ前期分1名の面接を実施し、引き続き後期募集を進める。そのため当協議会では、9月19日開催の「ぎふアグリチャレンジフェア」にオンラインで出展、就農希望者へ「郡上トマトの学校」のPRを行った。

農業普及課では、夏秋トマト産地振興を目的に協議会と連携して、新規就農者の確保に取り組む。



【オンライン画面の一部】

■女性農業経営アドバイザー 「コロナに負けるな！」第2回地区全体会議を実施

9月23日、郡上地区女性農業経営アドバイザーの第2回地区全体会議が開催された。

コロナ禍で様々な行事が滞りがちだが、これまで盛り上げてきた農業女子の活動を継続しようと、11月中旬に第6回郡上地区農業女子会として「SNSを使った農産物のPRに活用できる写真の撮り方講座」をコロナ対策をとり、開催することとした。

他にも、昨年度に作成した食育カルタの活用について積極的な意見交換も行われ、コロナに負けない前向きな姿勢が伺われた。

農業普及課では、女性農業経営アドバイザー活動への支援を通じ、女性農業者の活躍推進に取り組む。



【積極的な意見交換】

売れるブランドづくり

■水稲 良食味米生産を目指して

農業普及課では、良食味米の生産による郡上産米のブランド化を支援しており、土壌改良による更なる食味向上を目指し、農家の協力のもと土づくり資材の実証ほを設置、これまで生育調査を行ってきた。

9月4日、16日には、JAめぐみの営農指導員と肥料メーカーとともに、刈取適期の判断と併せて収量を左右する出穂数など成熟期調査を行った。

本年は、7月の長雨の影響から出穂はやや遅れたが、その後の高温等の影響もあり、結果ほぼ平年並みの刈取時期と判断した。

刈取後は、食味値や収量などの効果を確認し、得られたデータをもとに、資材の普及について農業者を交え協議を進める。



【成熟期調査の様子】

■夏秋トマト 技術研究部会で管内ほ場巡回

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会では、45歳以下の部会員で技術研究部会を組織し、収量や品質の向上を目的とした品種比較等の調査を行っている。

収穫も終盤に近付いた9月23日には、「郡上トマトの学校」を含む生産者のほ場3か所を巡回し、栽培状況を確認した。

今回は主に部会内で栽培されている品種（桃太郎セレクト 桃太郎ワンダー、麗月）について品種毎の違いを確認し、次年度に向けた品種構成や栽培に関する提案を行うための情報を収集した。

農業普及課では、技術研究部会からの提案が夏秋トマト部会に受け入れられるよう、調査データの取りまとめや部会員の意見調整など支援を進めていく。



【生育状況を確認】

■夏いちご 晩秋期出荷の品質検討会を実施

9月29日、郡上市高鷲町にあるいちご選果場にて「ひるがの高原いちご組合」が、品質検討会を実施した。

これは、9月後半になると気温の低下に伴い果実の着色スピードが大きく変わるため、晩秋期出荷に際して再度目揃えを行い、着色基準を確認するものである。

併せて9月までの状況を振り返り、シーズン終了までの出荷に向けて意識統一を図った。

農業普及課からは、気温低下に伴うハウス管理の注意点や病害の予防を中心に晩秋期栽培について指導を行った。

夏いちごは、晩秋期になると一段と甘くなり市場からの評価も高く、単価も期待できることから、農業普及課では消費者の需要に応えられる産地づくりに向け支援に取り組む。



【着色を確認する生産者】